

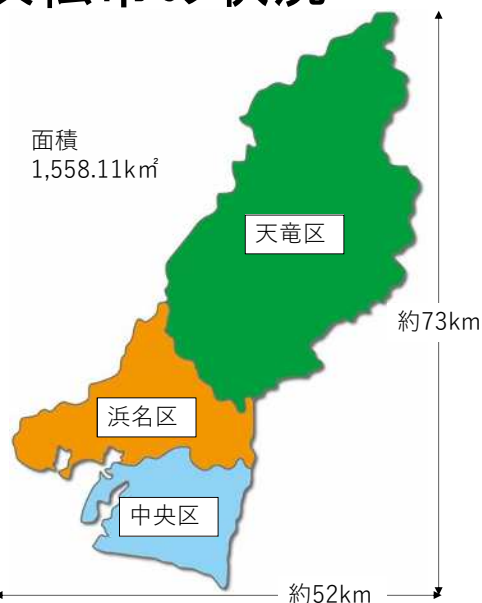
第1回 浜松市営墓園・墓地のあり方を 検討する有識者会議

令和8年1月23日（金）

1 市営墓園・墓地の現状及び課題

浜松市の状況

面積
1,558.11km²

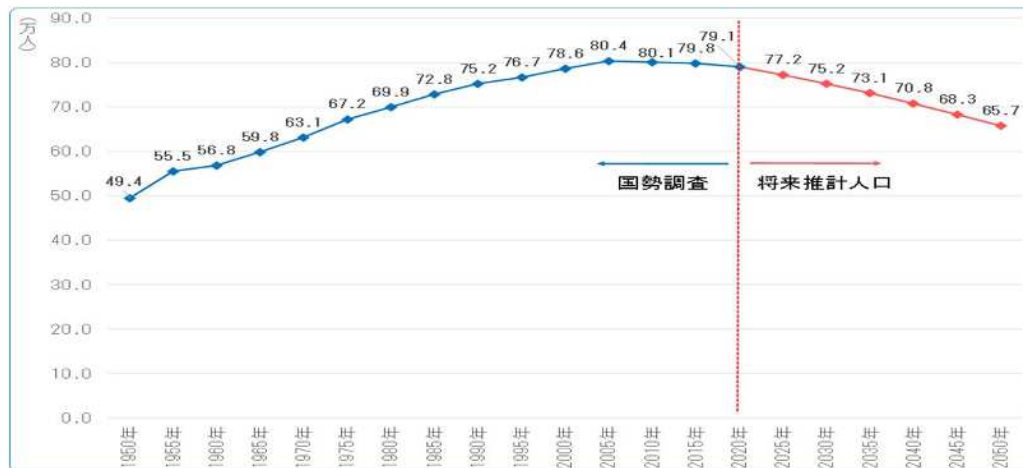


区分	面積 (k m ²)	人口	世帯数	人口密度
浜松市	1558.11	769,411	336,256	494
中央区	268.42	594,356	267,238	2,214
浜名区	345.85	151,494	58,901	438
天竜区	943.85	23,561	10,117	25

令和7年10月1日（推計人口）

将来人口の推計【浜松市地方創生総合戦略 令和7年3月】

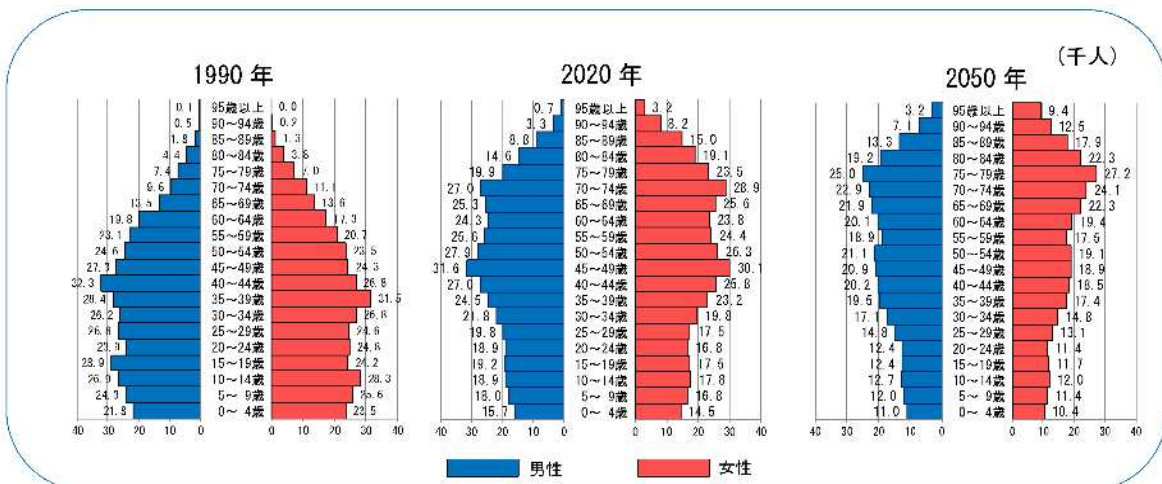
- ・浜松市の将来推計人口は、2020年の79.1万人から2050年には16.9%減少し、65.7万人。



浜松市地方創生総合戦略 令和7年3月

浜松市の人口ピラミッド（1990年、2020年、2050年推計比較）

- ・年少人口及び生産年齢人口の減少が続き、老年人口は増加。



浜松市地方創生総合戦略 令和7年3月

世帯数の推計

- 世帯数は増加傾向にあり、2020年の31.5万世帯から2050年には5万世帯増加し、36.5万世帯。

(世帯数)

世帯	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
世帯総数	315,019	330,845	340,598	349,057	355,825	360,422	365,241
単独世帯	99,488	112,649	121,923	130,228	136,815	140,729	145,113
夫婦のみの世帯	63,494	67,662	70,137	71,544	72,680	73,780	74,426
夫婦と子から成る世帯	87,916	87,035	85,611	84,672	84,524	85,146	85,204
ひとり親と子から成る世帯	27,205	29,956	31,683	33,178	34,304	35,355	36,602
その他の一般世帯	36,916	33,544	31,244	29,435	27,504	25,413	23,897

浜松市地方創生総合戦略 令和7年3月

市営墓地の状況



区分		①中沢墓園	②三方原墓園	③舞阪吹上墓地
区画数	芝生	0	4,187	0
	普通	2,989	7,725	521
	計	2,989	11,912	521
納骨堂		-	永年 9,000 期限付3,000	-
貸付	新規	×(終了)	×(終了)	×(終了)
	再貸付	○	○	○

区分		④雄踏墓地		⑤細江高台墓地	⑥船明墓地
		1号、2号	3号		
区画数	芝生	0	0	0	606
	普通	477	29	517	2,022
	計	477	29	517	2,628
納骨堂		-	-	-	-
貸付	新規	×(終了)	×	×(終了)	○
	再貸付	○	×	○	×

市営墓地 全19,073区画

墓地使用料

貸付時

区分		墓所の面積	金額
中沢墓園		1.65 m ²	274,000 円
		3.3 m ²	548,000 円
三方原墓園	普通墓所	1.44 m ²	98,000 円
		3.3 m ²	230,000 円
		3.75 m ²	382,000 円
	芝生墓所	3.75 m ²	426,000 円
舞阪吹上墓地		1.49 m ²	162,000 円
雄踏墓地	1号区	1.2 m ²	94,000 円
	2号区	1.5 m ²	270,000 円
	3号区	1.39 m ²	121,000 円
細江高台墓地		1.44 m ²	135,000 円
船明墓地	普通墓所	2 m ²	232,000 円
		3 m ²	348,000 円
	芝生墓所	3.25 m ²	425,000 円

管理料

区分	金額
中沢墓園、三方原墓園、船明墓地	15,710円 / 5年
舞阪吹上墓地、雄踏墓地、細江高台墓地	12,570円 / 5年

平成24年4月1日以降の貸付者のみ

三方原墓園納骨堂

区分	使用料
永年納骨	123,610円 / 体
期限付納骨	1年 7,220円 / 体

- ・船明墓地以外は、墓地利用者（申請者）が市民であることが条件。
- ・船明墓地の墓地利用者（申請者）が市外の場合、使用料は1.5倍。

市営墓地の貸付状況等の推移

- ・墓地区画を毎年150～180区画貸付

区分			R1	R2	R3	R4	R5	R6
墓園・墓地	新規貸付	船明墓地	95	107	87	63	61	68
	再貸付	中沢墓園	12	9	7	12	16	9
		三方原墓園	35	44	87	77	70	75
		舞阪吹上墓地	2	4	0	3	2	2
		雄踏墓地	3	0	0	1	4	1
		細江高台墓地	2	3	1	1	2	2
		小計	54	60	95	94	94	89
	計		149	167	182	157	155	157
	納骨堂		316	359	354	398	408	488
	合計		465	526	536	555	563	645

船明墓地 新規貸付の推移

- 平成24年度供用開始。
- いつでも申込・利用が可能だが、近年は60程度に留まる
 - 計画区画（1～5期）5,799区画 →整備済（1～3期）2,628区画
未整備3,171区画

区分		整備 済数	貸付数														計	残
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7※		
従 来 型	2㎡	1,287	91	198	66	54	73	55	72	40	42	47	33	34	35	24	864	423
	3㎡	735	415	80	40	43	28	24	17	7	13	5	4	9	7	4	696	39
芝生型		606	-	78	57	46	84	60	55	48	52	35	26	18	26	16	601	5
計(区画)		2,628	506	356	163	143	185	139	144	95	107	87	63	61	68	44	2,161	467
うち市外利用者		-	-	-	-	-	6	3	6	4	2	1	2	1	1	1	27	

※令和7年度の数値は12月末現在

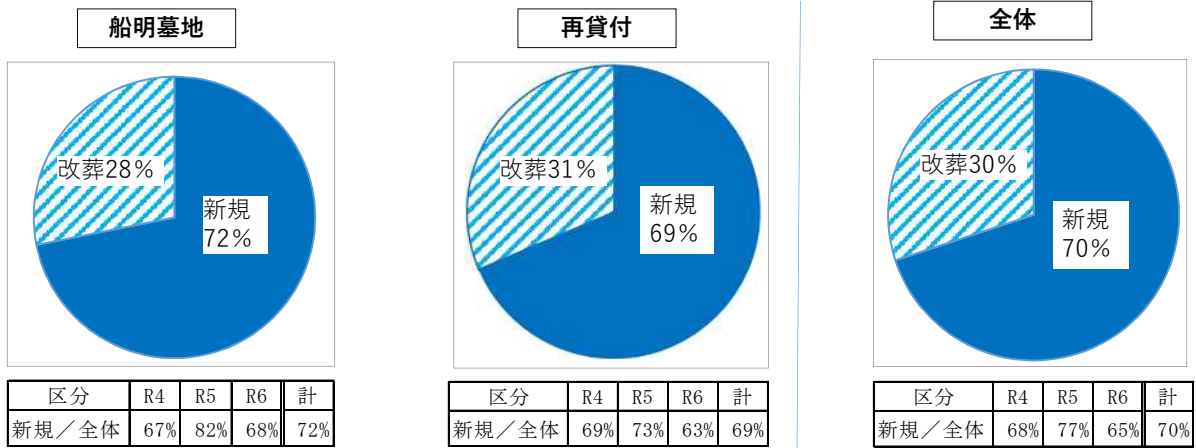
市営墓地再貸付の応募状況推移

- 毎年、募集数を大きく上回る申し込みがある

区分		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
中沢墓園	申込数	70	64	51	58	57	42	39
	(募集数)	(12)	(9)	(7)	(12)	(16)	(9)	(10)
三方原墓園	申込数	225	221	247	203	156	131	119
	(募集数)	(35)	(44)	(88)	(78)	(72)	(81)	(82)
舞阪吹上墓地	申込数	8	12	0	5	4	5	3
	(募集数)	(2)	(4)	(0)	(3)	(2)	(2)	(3)
雄踏墓地	申込数	8	12	0	5	4	5	1
	(募集数)	(3)	(0)	(0)	(2)	(4)	(2)	(3)
細江高台墓地	申込数	8	12	0	5	4	5	0
	(募集数)	(2)	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)
計	応募数	319	321	298	276	225	188	162
	(募集数)	(54)	(60)	(96)	(96)	(96)	(96)	(100)
倍率		5.9倍	5.4倍	3.1倍	2.9倍	2.3倍	2.倍	1.6倍

市営墓地の貸付状況（墓地取得要因）

- ・ 令和4年度～6年度の3年間貸付を行った区画において納骨届を分析
- ・ 新規貸付、再貸付共に7割が新規利用、3割が改葬

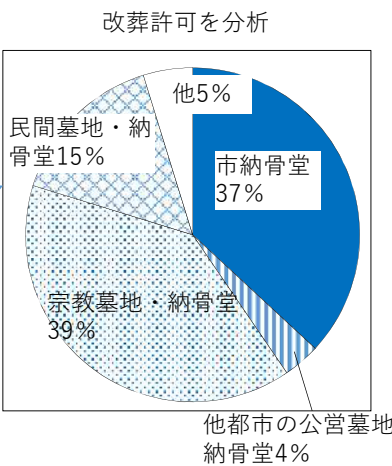


市営墓地返還数の推移

- ・ 返還数は増加傾向にあるが、市営墓地全体の0.5%程度に留まる
- ・ 市営墓地返還後は市納骨堂のほか宗教墓地・納骨堂等へ改葬など様々

区分	R3	R4	R5	R6	R7※
中沢墓園	13	15	9	18	12
三方原墓園	44	40	63	59	58
舞阪吹上墓地	3	2	2	3	5
雄踏墓地	1	4	2	3	2
細江高台墓地	1	2	2	2	1
船明墓地	0	4	5	3	3
合計	62	67	83	88	81

※令和7年度は12月末日まで

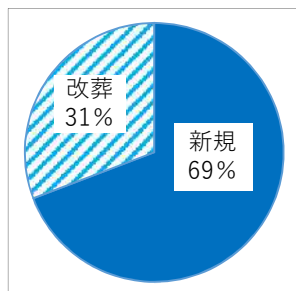


納骨堂（三方原墓園）の永年納骨数推移

- ・合葬墓である納骨堂永年納骨利用者は年々増加し、あと数年でいっぱいになる見込み

永年納骨	H19～26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7※	合計
	1,150	227	250	269	329	316	359	354	398	408	488	385	4,933

永年納骨者の状況
(R1～R6)



生前登録	1,511
------	-------

合計	6,444
----	-------

収蔵可能数	9,000
残り	2,556

※R7は12月末現在

墓地についてアンケートの実施

① 市民アンケート

- ・調査対象：満18歳以上の**市民5,000人**（無作為抽出）
- ・調査方法：質問紙を郵送し、郵送回答もしくはインターネット回答
- ・調査機関：令和7年9月19日～10月10日
- ・回答数：**2,581人**（**回答率51.6%**）

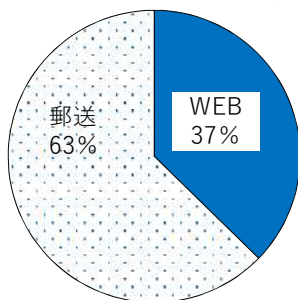
② 利用者アンケート

- ・調査対象：市営墓園・墓地、納骨堂（期限付納骨）の**利用者2,200人**（無作為抽出）
- ・調査方法：質問紙を郵送し、郵送回答もしくはインターネット回答
- ・調査機関：令和7年9月19日～10月10日
- ・回答数：**1,427人**（**回答率64.8%**）

①市民アンケート

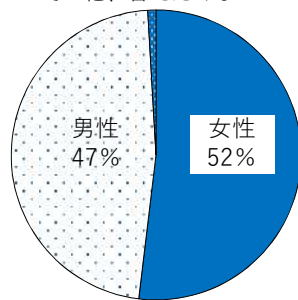
1) 回答者の属性

1 回答方法

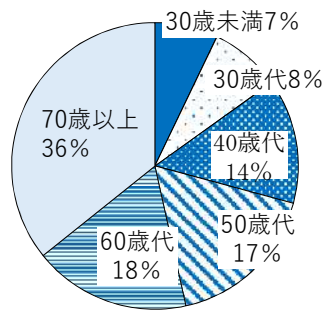


2 性別

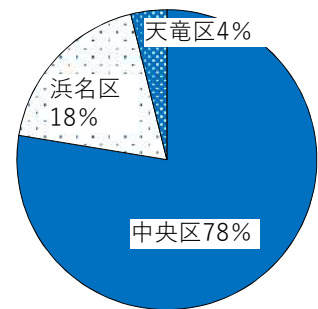
その他、答えたくない1%



3 年齢



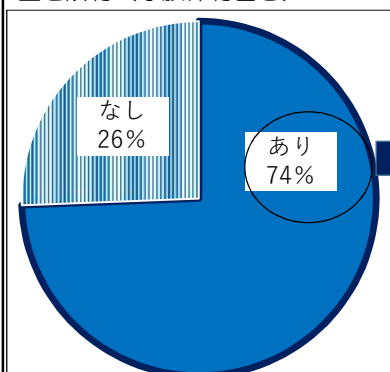
4 居住区



2) 結果抜粋

1 墓の保有状況

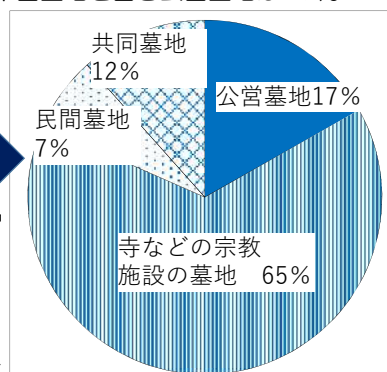
全体の約3/4の人がなんらかの形で墓を所有（家族保有含む）



問2 n=2,545

2 墓の形態

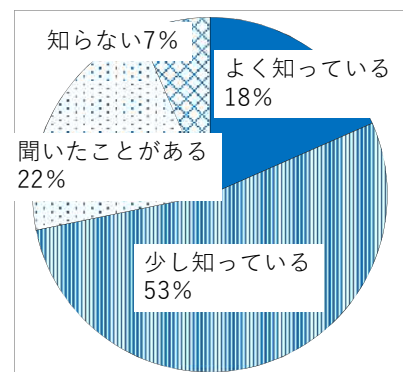
全体の約2/3が寺など宗教施設内、市営墓地を含む公営墓地は17%



問4 n=1,843

3 「墓じまい」の認知度

「知らない」6.5%を除いた9割超が認知

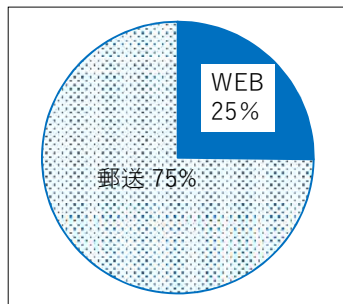


問1 n=2,574

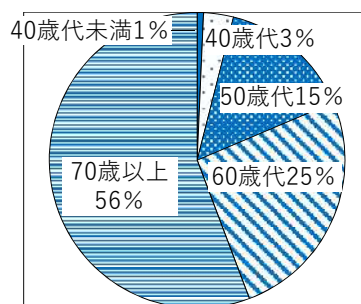
②利用者アンケート

1) 回答者属性

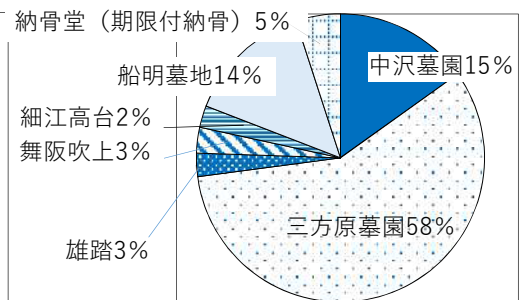
1 回答方法



2 年齢



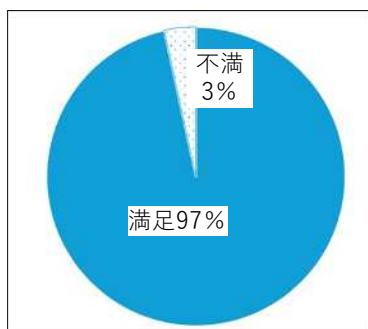
3 利用墓地



2) 結果抜粋

②利用者アンケート

1 満足度



問4 n=1, 380

2 満足な点

No.	カテゴリ	率
1	永続性	18.0 %
2	墓参道などの園内の施設整備	14.7 %
3	安価な墓地区画	13.7 %
4	安全・安心な空間	11.5 %
5	誰もが利用可能	7.7 %
6	雰囲気	6.1 %
6	管理費	6.1 %
8	樹木、芝生等の適正な管理	5.7 %
9	豊かな自然環境	4.6 %
10	特になし	3.4 %
10	静けさ	3.4 %
12	平等な運営	2.9 %
14	憩いの場	0.7 %
-	その他	1.7 %

問5 n=1, 371

3 不満な点

No.	カテゴリ	率
1	特になし	70.9 %
2	樹木、芝生等の適正な管理	6.3 %
3	墓参道などの園内の施設整備	4.0 %
4	永続性	1.2 %
5	管理費	1.0 %
6	憩いの場	0.9 %
7	安全・安心な空間	0.7 %
8	誰もが利用可能	0.6 %
9	静けさ	0.3 %
10	豊かな自然環境	0.2 %
10	平等な運営	0.2 %
12	安価な墓地区画	0.2 %
12	雰囲気	0.2 %
-	その他	13.1 %

問5 n=1, 201

市内の墓地・納骨堂の新規需要数

ある年の「死亡者の埋葬先」としての新規墓地需要について大阪府方式、森岡方式の2つの手法で算出

⇒低い方が本市の墓地需要となる

⇒ R 8 からの15年間で市内に約20,500の墓等が必要

◇大阪府方式：死亡者数に着目し、「死亡者の発生」が「お墓」を求めるという考えで算出する手法

◇森岡方式：増加した世帯数に着目し、「増加した世帯」が「お墓」を求めるという考えで算出する手法

市内墓地需要

区分	大阪府方式	森岡方式
R6	1,273	2,962
R7	1,268	2,998
R8	1,299	3,012
R9	1,299	3,038
R10	1,313	3,034
R11	1,325	3,023
R12	1,336	3,011
R13	1,349	3,032
R14	1,361	3,084
R15	1,373	3,025
R16	1,385	3,043
R17	1,398	3,064
R18	1,415	3,095
R19	1,417	3,072
R20	1,425	3,089
R21	1,435	3,077
R22	1,450	3,113

今後
15
年間

R 8～R 22合計
(今後15年間)

20,579

墓地需要の算出方式

①大阪府方式

Y 年の墓地需要

$$= Y \text{ 年の死亡者数} \times \text{定住志向率}^* \times 1/2 \times (\text{墓地取得希望率}^* + \text{傍系世帯率}^*)$$

※アンケート調査結果：定住志向率92.4%、墓地取得希望率10.8%、傍系世帯率16.8%

②森岡方式

$$Y \text{ 年の墓地需要} = \Sigma (\text{墓地需要発現期間}^* \text{における各年の世帯の増加数} \\ \times \text{世帯平均人数} \times \text{死亡率})$$

※墓地需要発現期間：各年の世帯数を全死亡者で除して算出した数値

市営墓地の課題

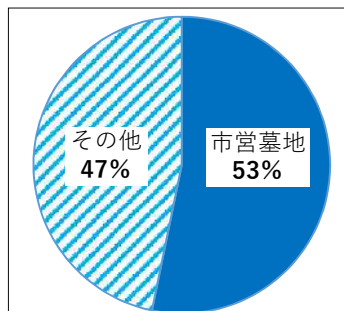
- 1 需要数と比較し低い供給実績
- 2 市民ニーズとの不一致
 - ① 墓の形（従来型の墓石設置タイプの墓地区画のみの提供）
 - ② 墓地区画の利用期限（永年利用タイプの墓地区画のみの提供）
 - ③ 供給箇所（墓地は船明墓地のみ新規貸付可能）
 - ④ 区画サイズ（市営墓地は1坪区画が大半）
- 3 墓じまいへの対応
- 4 認知度・周知

市営墓地の課題

1 需要数と比較し低い供給実績

年間600～700の市営墓地・納骨堂の需要に対し、船明墓地や納骨堂で需要を上回る供給を行っているにも関わらず、実績では供給数が需要数を下回る状況

希望する墓地（市民アンケート）



市民アンケート問15 n=2,431

市営墓地等の需要と供給状況

区分	市内墓地 新規需要 A	市営墓地 希望率 B	市営墓地+納骨堂		過不足 D-C
			新規需要 C=A×B	新規供給実績 D*	
R4	1,194	53%	633	378	△ 255
R5	1,226		650	396	△ 254
R6	1,273		675	432	△ 243

※供給実績は納骨届提出済区画の割合で新規貸付全体を按分し算出

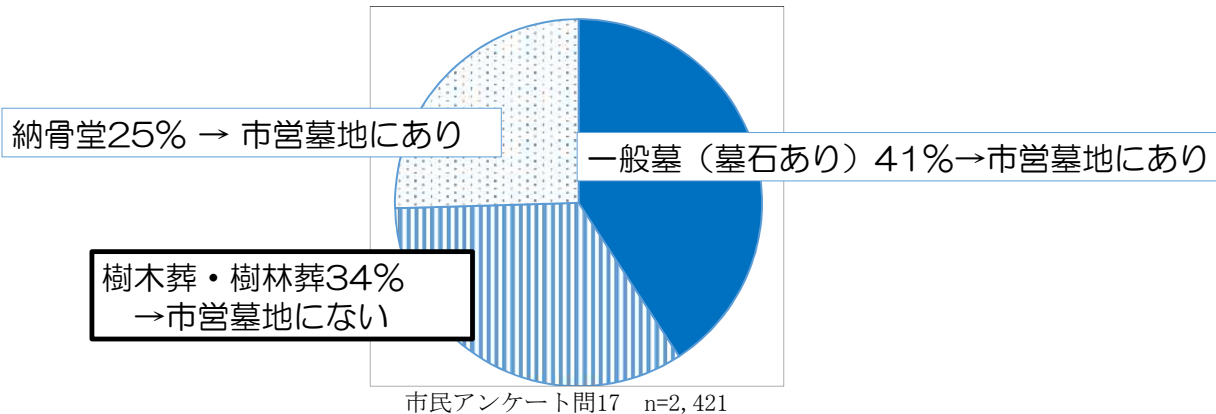
市営墓地の課題

2 市民ニーズとの不一致 ① 墓の形

① 墓の形

- ・市営墓地は、従来型の墓石設置タイプの一般墓地区画のみしかない
⇒市民ニーズのある樹木葬・樹林葬といった新しい墓地タイプがない

希望する墓地のタイプ（市民アンケート）



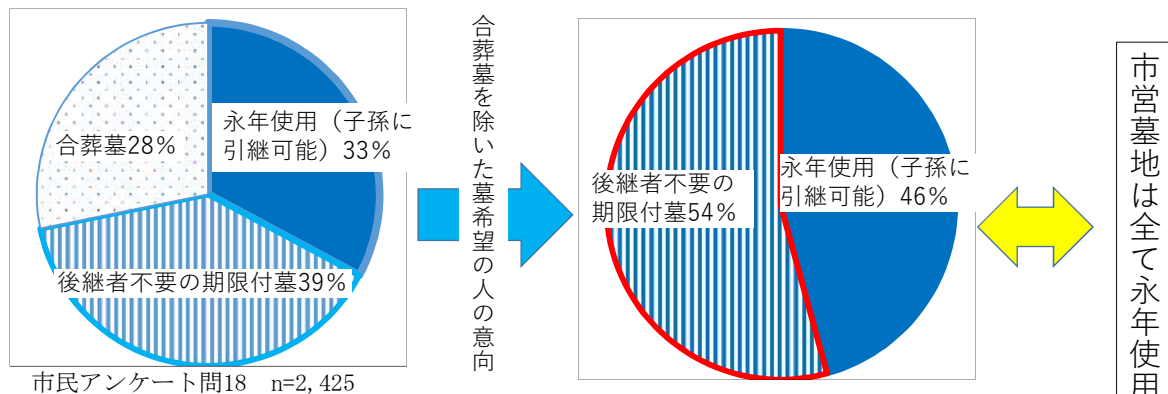
市営墓地の課題

2 市民ニーズとの不一致 ② 墓地区画の利用期限

② 利用期限

- ・永年使用（子孫に引継可）の墓を希望する人は33%
→合葬墓を除いた墓を希望する人の過半数が期限付きを希望

希望する墓地のタイプ（市民アンケート）



市営墓地の課題

2 市民ニーズとの不一致 ③供給箇所

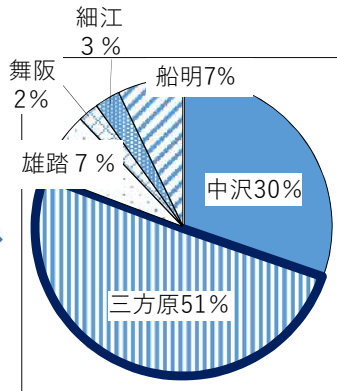
③ 供給箇所

- ・希望する市営墓地については市営墓地ならどこでも良いが15%
- ・「どこでも良い」を除くと半数が三方原墓園を希望

希望する市営墓地（市民アンケート）

区分	回答率
中沢墓園	26%
三方原墓園	43%
雄踏墓地	6%
舞阪吹上墓地	2%
細江高台墓地	2%
船明墓地	6%
どこでも	15%

市営墓地ならどこでもを除く



市営墓地
・新規貸付は船明のみ
・他は返還のあった区画の再貸付のみ

市民アンケート問26 n=2,406

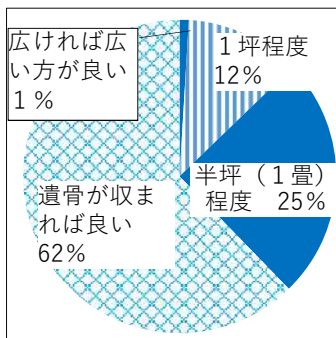
市営墓地の課題

2 市民ニーズとの不一致 ④区画サイズ

④ 区画サイズ

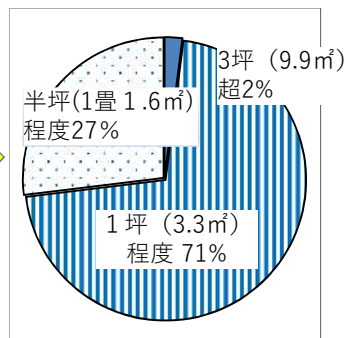
- ・市民アンケートでは半坪（1畳）を下回る区画サイズが人気
→市営墓地は1坪（3.3㎡）以上が大半

希望する墓地のサイズ
（市民アンケート）



市民アンケート問16 n=2,441

市営墓地の墓地区画のサイズ



<参考>区画サイズ別応募倍率
R5～7 三方原墓園再貸付
普通墓所（和風）
235区画、申込数403件

区分	区画の広さ		
	1.44㎡	3.30㎡	3.75㎡
応募倍率	3.6倍	1.8倍	1.0倍
区画の広さ	最大	8倍	5倍
	最小	1倍	0

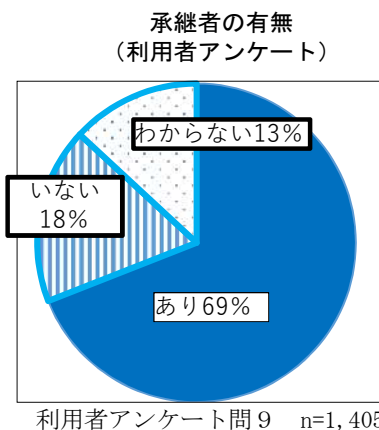
●区画面積が小さいほど倍率が大

市営墓地の課題

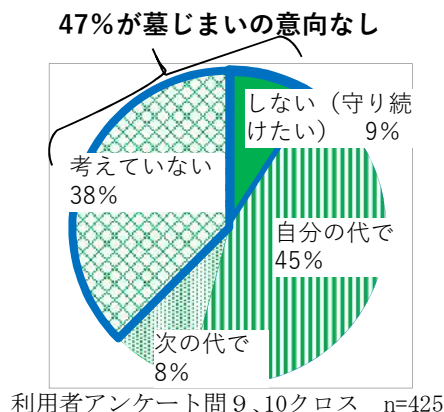
3 墓じまいへの対応

- 市営墓地利用者のうち承継者が「いない」18%、「わからない」13%の計31%が墓の承継者に不安

⇒その約半数が墓じまいの意向なく将来無縁墓になる恐れ



承継者が「いない」「わからない」人の墓じまいの意向



市営墓地の課題

4 認知度・周知 ①

- 市営墓地に対する認知度が低く、三方原墓園を除き、名前さえ知らない人が多い
- 墓地を取得したいという人でも、7割の人がいつでも申込が可能である船明墓地の名前さえ知らない。

市営墓地の認知度（市民アンケート）

区分	名前も場所も知っている	名前は知っている	知らない
中沢墓園	37%	18%	45%
三方原墓園	68%	16%	16%
雄踏墓地	8%	11%	81%
舞阪吹上墓地	3%	6%	91%
細江高台墓地	4%	4%	92%
船明墓地	11%	10%	79%

市民アンケート問24 n=2,406～2,463

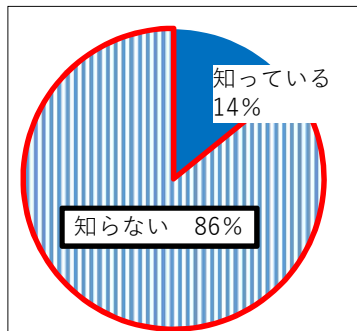
墓地取得を希望する人に限定

区分	名前も場所も知っている	名前は知っている	知らない
中沢墓園	43%	19%	38%
三方原墓園	71%	16%	14%
雄踏墓地	11%	12%	77%
舞阪吹上墓地	5%	6%	90%
細江高台墓地	4%	6%	90%
船明墓地	17%	13%	70%

市民アンケート問12とのクロス n=249～256

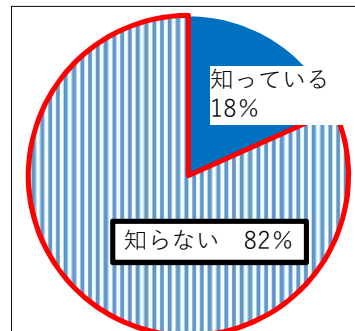
市営墓地が、再貸付という形で墓地区画の募集を行っていることを知っている人は、墓地取得を希望する人でも2割弱しかいない

再貸付の認知度（市民アンケート）



市民アンケート問25 n=2,478

墓地取得を希望する人に限定



問25、12クロス n=262

2 論点

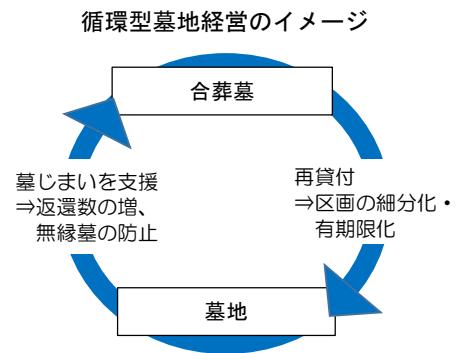
論点 案

- 1 今後15年間における市営墓地・納骨堂の供給数の検討
 - (1) 市営墓地等の必要性・役割
 - (2) 需要分析を踏まえた市営墓地の整備等対策が必要な供給数の検討
- 2 1を踏まえた市営墓地供給方法の検討
 - (1) 具体的な供給方法の整理
 - ①ニーズや社会情勢を踏まえた市営墓地整備（箇所・数）
⇒整備箇所、墓地タイプ、区画サイズ、期限 等の内容
 - ②返還区画の活用
- 3 持続可能な墓地経営に向けた取り組み
 - (1) 使用料（墓地貸付、管理料）
 - (2) 無縁墓防止対策＜墓じまいの推進＞
- 4 その他
 - ・認知度アップに向けた広報方法等

3 市営墓園・墓地の方向性

市営墓地の方向性 たたき台

- ① 三方原墓園の遊休区域を墓地整備
 - ・活用されていない噴水周辺、日本庭園
- ② 船明墓地区域の縮小（未整備用地の用途整理）
 - ・一部を他用途への転換
 - ・一部（管理事務所の周辺）は墓地整備
- ③ 新しいタイプの墓地整備
 - ・樹木葬・樹林葬、期限付墓
 - ・合葬墓、納骨堂
- ④ 使用料の見直し
 - ・地価等を勘案した墓園・墓地ごとの料金設定
 - ・管理料の全区画からの徴収
- ⑤ 循環型墓地経営の推進
 - ・市営墓地の墓じまい支援制度の新設
（利用者の納骨堂への改葬時使用料免除）



船明墓地



三方原墓園

